

事後評価 計画名称 2 北部九州地域における広域的な産業物流の効率性向上

【事業主体】

熊本県（福岡県・佐賀県・大分県と連携）



計画の目標・計画期間

九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の主力産業である自動車関連、半導体関連等の事業活動を促進するための基盤整備などを実施することにより、広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC）との相互アクセス性や物流の効率性を高めることにより、産業経済活動の国際競争力を向上させる。

[平成22年度～平成26年度（5箇年）]

H22	H23	H24	H25	H26
2 北部九州地域における広域的な産業物流の効率性向上				

道路利用者

現道拡幅を“約1km”を整備し、車両のスムーズな通行確保

歩道整備を“約1km”を整備し、歩行者等の安全性確保

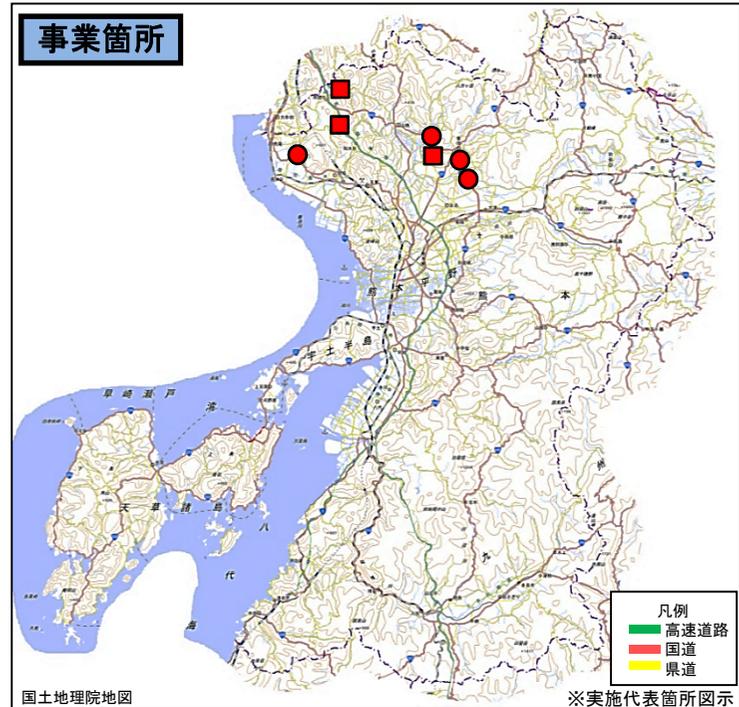
要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考
				完了	継続	
A: 基幹事業	県	道路改築	4	4	1	3 バイパス、現道拡幅
		交通安全	3	3	2	1 交差点改良、歩道整備
C: 効果促進事業	県	活動支援	1	0	0	0 新技術・新工法展示会開催等

目標達成状況

指標①	計画の成果目標	九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の製造品出荷額等 約13.00兆円（H20）から約13.34兆円（H26）に増加		
	定義及び算定式	九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の製造品出荷額等（九州北部地域内の製造品出荷額等の増加率） ＝（評価時点の製造品出荷額等－H20の製造品出荷額等）／（H20の製造品出荷額等）		
	達成状況	現道拡幅については、国道325号・旭志工区の整備を完了し、歩道整備については、県道植木インター菊池線（砂田工区その2）ほか1箇所の整備を完了した。それに伴い、九州北部地域（熊本県、福岡県、佐賀県、大分県）の製造品出荷額等増加の目標を達成できた。	当初現況値（H20） 13.00兆円	最終値（H26末） 13.34兆円（2.6%増） 実績値 13.59兆円（4.5%増）
指標②	計画の成果目標	熊本県内の製造品出荷額等 約1.92兆円（H20）から約1.98兆円（H26）に増加		
	定義及び算定式	熊本県内の製造品出荷額等（熊本県内の製造品出荷額等の増加率） ＝（評価時点の製造品出荷額等－H20の製造品出荷額等）／（H20の製造品出荷額等）		
	達成状況	現道拡幅については、国道325号・旭志工区の整備を完了し、歩道整備については、県道植木インター菊池線（砂田工区その2）ほか1箇所の整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、熊本県内の製造品出荷額等増加の目標を達成できなかった。	当初現況値（H20） 1.92兆円	最終値（H26末） 1.98兆円（3.1%増） 実績値 1.87兆円（2.6%減）



今後の方針

バイパス事業の県道荒尾長洲線（野原バイパス）や現道拡幅事業の国道325号・菊池工区及び交差点改良などの早期整備効果発現のため、H27年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。